



親子で早朝マラソン

春日2丁目東区で50日間

「おはようございます」「おはよう」と、早朝6時前の静かな町内に和やかにあいさつが交わされます。

春日2丁目東区では8月4日～9月30日の50日間、子供から大人までが参加して早朝マラソンが行われています。

6時20分スタート。それまでは集まって来た人たちで、バレーボールやキャッチボール、親子でのバドミントンなどを楽しめます。

コースは秋葉神社を回る一周400m。自分の体調に合わせて好きなだけ走り、毎日の距離を記録します。

中には4周も5周もするファイターもいます。

最初から参加している平鍋弓子さんは「初めのうちはちょっとしんどかったけど、慣れてくるにつれて走った後の気持はいいし、大変体の調子もいいです」と話していました。

中荒井で建設始まる

来年 4 月にはオープン

勤労青少年ホーム



近代的な同ホームの完成予想図

市内に住む働く若者たちの福祉施設、大野市勤労青少年ホームはこの程中荒井（京福電車大野駅跡地）で工事が始まりました。

敷地面積は 2,123平方メートルで、鉄筋コンクリート 2階建て延べ 728 平方

メートル。総工事費は 1 億 507 万円です。

1階には料理講習室・音楽室・娯楽談話室・茶室・相談室・事務室、2階には軽運動室・集会室・講習室

図書室・シャワー室などが出来ることになっています。

一般教養や実務教育の研修会、あるいは講演会や座談会などを開いたり、音楽や茶道、読書、軽スポーツなどの余暇活動・厚生娯楽・体育レクリエーションの場として利用出来るほか、生活指導員を置いて身近な生活や仕事に関する相談に当たる点が特色で、若者が広範な分野で活用出来る施設となります。

現在市内には約 2,600 人の勤労青少年がいますが、これまで気軽に利用出来る活動の場が少なく、建設が待ち望まれていました。あすの大野市を担う青少年のための総合福祉施設として、56年 3 月末に完成する予定です。

また、57年度には隣接して体育館の建設に着手する計画になっており勤労青少年の活動の拠点として役立つこととなります。

スマイル

「冷夏異聞」

クモが巣を作りました

一扇風機

下庄公民館

6,700万円で改築に着手

下庄公民館は最近老朽化が目立ち建て替えが急がれていましたが、この程勤労青少年ホームと並行して工事が始まりました。

新しい建物は、現在の新町から少し東側で、勤労青少年ホームと棟続きに建てられ、鉄筋コンクリート 2

階建て延べ 434 平方メートル。総工事費は 6,765 万円で、来年 3 月末に完成する予定です。

1階には事務室や会議室をはじめ図書室兼展示室・実験室・児童室など、2階には大広間の集会室が出来ることになっており、館内は明るく

利用しやすいよう設計されています。

市では、社会教育施設の整備充実を計画的に進めており、今年度は下庄公民館のほか小山公民館も改築することになっています。



老朽化した現在の公民館

(((((市内で4番目)))))

尚徳中にナイター設備

申し込みは有終会館へ

尚徳中学校グラウンドに市内で4番目の夜間照明設備が完成し、8月25日点灯式が行われました。

照明面積は6,400平方メートルで、6基の照明柱が立ち、全部で52個のランプがともります。

明るさは132～238ルクス、平均152ルクスになるよう設計されており、総工事費は1,450万円です。

市民のスポーツ熱は年々高まる傾向にあり、これまでの市民グラウンド・上庄中グラウンド・陽明中グラ

ウンドの3カ所だけではその要望に応じきれなくなっていました。今後はかなり緩和され、利用しやすくなります。

使用時間は午後7時～9時です。使用ご希望の方は希望月の前月20日までに、有終会館事務局(6-2287)へ申し込んで下さい。



明るいグラウンドでソフトボールをする利用者

会議室1・小会議室2のほか、調理実習室・作法室・図書室などがあります。

一番上の4階には県内一とされている豪華な結婚式場や120人収容の披露宴会場のほか、新郎・新婦控室写真室などがあります。

さらに、本館西隣りには700人収容の講堂があります。この講堂はステージ付きになっており、照明器具や音響設備も備えられた立派なもので、ショーや各種の催し物に利用されます。また、バレーボールやバドミントンなどの軽スポーツも出来るようになっています。

結婚式場や会議室の使用申し込みは同会館内開発管財課(5-1250内線213)です。

県下一を誇る結婚式場

大野市農協会館が完成

平方メートル)と、鉄骨コンクリート平屋建ての講堂(延べ866平方メートル)からなっています。

両館とも外装は薄い緑色のタイル張りの仕上げになっており、窓わくはアーチ型のモダンな建物です。

本館1階には事務室や40人が休憩や談話などに利用出来る組合員コーナー・役員室などがあります。

事務室と組合員コーナーの仕切り壁には、荒島岳を背にして田植えに似そむ田園風景の大壁画があり、2階は吹き抜けになっているほか2つの会議室があります。3階には大



薄緑のタイル張りで仕上げられたモダンな会館

昨年8月から中挾町(都市計画街路七間線沿い)で建設が進められていた大野市農協会館(大葭原登組合長 組合員3,800人)が完成し、8月16日落成式が行われました。

総工事費は7億8,195万円。敷地面積は6,300平方メートルで、鉄筋コンクリート4階建ての本館(延べ3,328

第1回消費者大会

100人が活発に意見交換

“省資源・省エネルギーを考え、市民総ぐるみの運動にしよう。”と第1回大野市消費者大会が8月5日、市民会館で開かれました。



熱の入った意見発表

当日は市消費者グループ連絡協議会、市婦人会連絡協議会、大野・上

庄農協婦人部のほか、各グループから100人が参加しました。

大会は石田文子同大会実行委員長のあいさつ、川崎市長の祝辞に続いて分散会に入りました。

分散会では“冠婚葬祭などの簡素化を進めよう。”圧力鍋は余熱利用に

効果的である。“もっと電気や水を節約しよう。”など、活発な意見が交換されました。市内にはいろいろアイディアを生かしたり、工夫をして省エネに努めておられる方が大勢おられますが、今月はその中から3人の方々を紹介しましょう。

家族分担でおだを省く

杉本 友子さん（木本 42歳）

一昨年の冬でした。家族がコタツに入ってテレビを見ていると停電になりました。あたりは真っ暗。しばらく待っていましたがなかなか電気がつきません。そのうちだんだんコタツは冷たくなってきてウロウロするばかりでした。

次の日、食後のひととき前日の停電のことが話題になりました。

これまで何気なく使用して便利な生活に慣れているため、いざ停電になるとそのありがたさに、あらためて気がついたからです。

その結果「電気や石油は限りある資源だから、わが家でも分担して節約しよう」ということになりました。

おじいさん——消し忘れた部屋の電気をまめに消す
主人——フロは出来るだけまきでたくようにするためまき作りをする、
長男——寝る前に

必要のないコンセントを全部抜く、長女——テレビを見ないときはこまめに消す、私——洗たく物は出来るだけまとめてし、すすぎの前には一度脱水をする。これがわが家の分担です。最初は忘れることもありましたが、確認表を作って毎日反省していましたが、今はその必要もなくなりました。

特に長女は水を使うあちこちの場所に節水の張り紙をしてくれたため家中の者が水のむだ使いをしなくなりました。

省エネということは他人事でないと思います。みんなが何かを実行し少しずつ節約をしなければ将来大変なことになります。そのためには、まず家庭の中での節約が必要ではないでしょうか。



各月の電気代を比較する杉本さん一家

省エネはあなたのまじで

もみ洗いは衣服が長持ち

横田 麗子さん(泉町 51歳)



フロ場で洗たくをする横田さん

私はずっと以前から洗たく機を使わないことにしています。

洗たく機を使いますと、どうしても粉石けんを余分に使ってしまうし、たくさんの洗たく物をすすぐのにかかるの時間と多量の水を使わ

なければなりません。

そのため①タライにお湯を入れて洗たく物をつけておく(約10分)②汚れがひどい物や量が多いときは粉石けんを少し溶かしてつけておく③次に固型石けんでもみ洗いをする④

おフロのお湯で石けん分がなくなるまですすぐ⑤最後に水ですすいで、洗たく機で脱水する——の順で洗たくをしています。

洗たく物の量にもよりますが、普通4人家族分で10分ほどで洗えます。

フロに入りながらの洗たくは楽しいものですし、手でゴシゴシ洗うのは腕が丈夫になる効果もあります。

それに何よりもうれしいことは、衣服のいたみが少ないことです。下着・ワイシャツ・作業着など全部手洗いをしていますが、洗たく機を使う場合よりも3~4倍も長持ちします。固型石けんは月に2~3個あれば十分で、粉石けんは1年間に大箱を1箱しか使いません。

石けんも少なくすすみますし、水もかなり節約出来ると思います。

してみんなで注意し合いますが、最近では社員全体に節約ムードが盛り上がってきています。

次にノーカーデーの実行です。会社が決めたのではなく、社員がみんなで申し合わせて毎月1日をノーカーデーにしています。

交通機関のないところは相乗りをしていますが、そのほかはマイカー通勤を自粛しています。

さらに、これからの予定ですが各自の家庭での省エネ対策として、それぞれの家庭での省エネを披露し合う“家庭懇談会”を開いて、少しでも省エネ運動が広がるようにしたいと思っています。

2人の週番 細かく点検

北陸電力大野営業所
稲 照一郎さん(所長 49歳)

ことし4月に会社独自の“省エネルギー推進会議”を発足させました。

この会議の活動の1つに2人ずつが週番で、照明・空調・水道関係のチェックを1日3回行っていることが挙げられると思います。

これは電気の消し忘れがないか、室内の冷暖房が規準内であるか、水が完全に止まっているかなど、細かく点検するものです。

1週間が終わりますと反省発表を



ノーカーデーの看板を準備する社員

みんなの力で節約を

省資源・省エネ運動大野市推進会議会長

永田 敏夫さん(横枕 67歳)



お盆に帰省した義妹の話によりますと、都会では入浴後のフロのお湯はぬかないで、再利用するのが常識となっているとのことでした。再利用すると水道料金は半減するそうです。

また、圧力鍋も今では各家庭に普及しているそうです。

資源に恵まれた大野市では、まだまだ節約や省エネに対しての考え方や取り組みが都会ほど進んでいないと思います。

そうした中で、ことしの7月市民総ぐるみで省エネルギー運動を進めようと“省資源・

省エネルギー運動大野市推進会議”が発足しました。メンバーは市・区長会連合会・婦人会連絡協議会新しいまちづくり運動推進連絡会それに消費者グループ連絡協議会などの各機関・団体から構成されています。

本会議では、ことしの重点目標を①毎月1日を省エネの日とする②身近な生活の中から節約について話し合う——の2点にしばって運動を進めることになりました。

家族がみんなで話し合いこの目標を実行していただくよう、みなさんのご協力をお願いします。

福田一衆議院議長がお国入り

延べ1万5,000人が熱烈歓迎



小旗の波の中をパレード

三番～市役所は、開成・陽明両中学校のブラスバンドを先頭に、オープンカーでパレード。沿道には児童生徒や一般市民など、約3,000人が日の丸の小旗を振りながら「おめでとう。おめでとう」と大歓迎。福田議長は紙吹雪の舞う中を、にこやかに手を振ってこたえていました。

大野市が生んだ福田一衆議院議長が八月十三日お国入りし、市民の熱烈な歓迎を受けました。同議長は去る七月十七日召集の第九一特別国会で、六十二代目の衆議院議長に晴れて就任。今回は就任後、初めてのお国入りでした。この日、午後二時二十分に福井を出発した同議長は、三時四十分で京福大野三番に到着。ここでオープンカーに乗り替えて市役所までパレード。

市役所前広場での歓迎会、市民グラウンドでゲートボール福田杯授与式、開成中学校での市民歓迎会、有終会館での祝賀会、市役所前でのちょうちん行列、富田小学校での富田地区歓迎会、三番通りのおおのおどり会場などに出席し、午後十時近くまで休む間もない日程でしたが、疲れも見せずどの会場でも手を振りながら「ありがとう。ありがとう」と終始笑顔でこたえていました。翌十四日は午前中墓参りや麻生小学校・城町での歓迎会に出席し、午後一時に大野市を出発しました。



市役所前広場での歓迎会

市役所前広場で行われた歓迎会には約1,000人が詰めかけました。福田議長の出身地である井ノ口の済谷川通代さん(富田小6年生 12歳)から花束が贈られ、同議長は「みなさんの温かいご支援のおかげです。これからもさらに国政と郷土の発展のため努力したい」と述べました。





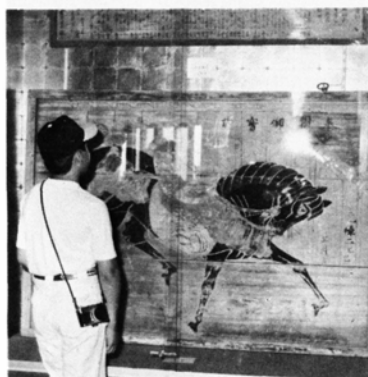
開成中での市民歓迎会

開成中学校で開かれた一般市民歓迎会には1,300人が参加。あいさつの中で「議会運営は政党に左右されず、良心に恥じない行動をしたい」と述べ、会場を埋めつくした市民から盛大な拍手を受けました。



富田地区の歓迎会

地元富田地区の夏まつり会場の富田小学校グラウンドには、約2,500人が歓迎。福田議長は待ちわびていた人たちに囲まれ、祝福とねぎらいの言葉を受けながら1人1人に握手をし、お礼を述べていました。



39点が展示された絵馬展

冷夏も吹っ飛ば踊りの輪

外人さんも人出にビックリ

おおのおどりを中心に8月8日～16日の9日間開かれた第13回おおの城まつりは、最終日が雨天となったため、昨年の人出と比べるとやや減ったものの期間中は多彩な行事が行われました。

ことしは天候が不順なために心配されましたが、おどりが始まった8日からは夏らしくなりました。

特に15日の六間通りには、待ちわびていた市民や帰省客・観光客など約2万5,000人が

参加。心地よい汗を流しながら深夜まで踊りました。

この日ちょうど大野に仕事で来ていた、ドイツ人のルドさんとフランス人のギーさんの2人も会場へ顔を見せ、たくさんの人出にビックリ。

「このような盛大な踊りの輪が出ることはすばらしい。御前踊りの手のしぐさが農作業に似ていて気に入りました」と、楽しそうに話していました。

最終日の16日はあいにくの小雨になりましたが、それでも約1万5,000人の踊りっ子が汗と雨にぬれながら最後まで踊っていました。

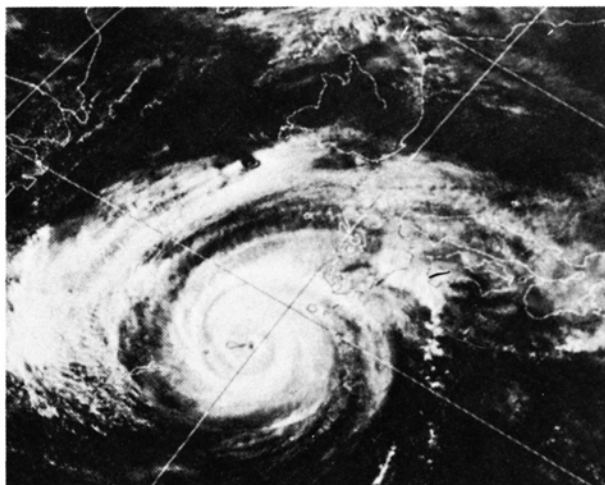
また、期間中には越前大野城で市内の貴重な絵馬39点を展示した「絵馬展」が開かれるなど、盛りだくさんの行事を行い幕を閉じました。



六間通りを埋めつくした市民

台風に 備えて

台風のシーズンになりました。毎年この時期には日本列島を台風が直撃し、各地に大きな被害をもたらします。台風が近づくと、テレビやラジオから台風情報が刻々と流れるようになります。台風に対する備えは、まず、この台風情報を正しく理解することです。情報を聞くときに気をつけたいことや備え等についてスポットを当ててみましょう。



54年9月29日気象衛星「ひまわり」から送られてきた台風16号の写真(提供 気象庁)

1回だけの情報で独りよがりの判断をしない

台風の進路は刻々と変化していきます。ついさっき出た情報も修正されることがしばしばで、一度だけの

情報で早のみこみ

をするのは危険です。次々に出される予報を注意深く聞きましょう。

ることがあります。

そういう場合は、迷わず地元の子報を採ることです。

地元の気象台は、その土地の防災上のコツや被害の出やすい場所などをよく知っているため、より細かい予報が出来るからです。

地元の予報を大切に

地元の気象台や測候所の予報と全国的な予報とでは、表現が違って



③〇 大 門

山ヶ鼻古墳発掘が切っ掛けとなって大門は脚光を浴びていますがこの集落は東と西に分かれ全部で62戸あります。牛ヶ原駅を降りて大門川をさかのぼっていくと、すぐに尾永見があり、乾側採種組合の倉庫から大門になります。倉庫のやや上を左に曲がると芦見峠に通じる道がありますが、昭和24年ころまでは往来もはげしく、村の人たちも山菜採りや家畜のための



草刈りに行ったそうです。

集落の後ろの山には牛ヶ原城址があり、砂防ダム工事が行われる以前には、城の一部とみられる石段があったそうです。ふもとは北海道に移住した人たちの無縁仏の墓があり、そこは三社はんと呼ばれ敵の目を逃れて水をくみに来た所といわれています。

今は故人の郷土史家齋藤秀助氏が淡川善左エ門氏の案内で城址を調査されたこと、淡川家では昭和2年に元弘のころ城主だった淡川右京亮時治の七百回忌の法要を営まれた等のお話を聞きました。

大門川をはさんで左に正願寺、右には浄信寺があり、坂を上りつめると八幡神社があります。ここで、明治時代に村の大半を焼失した大火や、戦中戦後の食糧難のときには山の中腹やふもとに、サツマイモやカブラを作ったことなど聞かされ、そぞろ苦難の往時がしのばれました。(T生)

風の吹き方にも注意を



台風が東側を通るか西側を通るかによって、風の吹き方と強さが違ってきます。

西側を通った場合は、まず東から風が吹き始め南東→南→南西→西の

順になり、東側を通った場合も最初は東から吹き始めますが、次には北東→北→北西→西の順に風が吹くようになります。

また、台風は左巻きのうず(北半球の場合)のため、西側を通る場合は、台風自身の風と台風を押し流す風が同一方向になってしまうので、より強い風になります。反対に東側を通る場合は台風と台風を押し出す風がぶつかり合うので風が弱くなります。

このように、風向きの変化と台風の進路には密接な関係があります。

お知らせ

◆市職員採用試験

市職員を次のとおり募集します。
 <採用予定人員> 事務職男子4人、
 女子1人
 <受験資格> 昭和32年4月2日～昭和38年4月1日に生まれた者
 <試験> 第一次試験11月9日(日)
 会場 大野工業高校
 第二次試験11月下旬
 <受付期間> 10月6日～16日
 <申し込み方法> 申込書(市役所庶務課にある)に写真(縦6^{センチ}×横4^{センチ})を張って提出

◆省資源の標語募集

福井県では、限りある資源やエネルギーを有効に使うため1つ1つの生活を見直そうと、暮らしの中の資源・エネルギーの節約に関する標語を募集しています。
 <内容> ①資源・エネルギーを有効に利用することに関するもの
 ②物を大切にすることに関するもの
 ③省資源運動の推進に関するもの
 <応募方法> 官製はがきに住所・氏名・年齢・職業を記入して応募

市政バスに参加を

紅葉の真名川ダムやことし完成した宝慶寺憩いの森など、市内の主要な施設を案内します。
 <日時> 10月2日(木) 午前8時30分～午後5時(雨天決行)
 <対象> 一般市民 100人
 <経費> 100円(宝慶寺宝物殿拝観謝礼)
 <持ち物> 水筒・雨具(昼食は市で準備)
 <申し込み> 9月25日(木)までに、市役所秘書広報課(6-1111内線 203)へ
 <コース> 市役所～老人福祉センター～北部保育園～陽明中学校～市清掃センタ



前回の施設めぐり(清掃センター)

～有終東小学校～奥越高原牧場～奥越青少年の森(昼食)～真名川ダム～上庄ほ場整備事業～上庄農協カントリーエレベーター～宝慶寺憩いの森～宝慶寺・橋本家～市役所
 この市政バスは10月30日(木)にも予定されています。

募(何点でも可)

<締め切り> 9月10日(水)までに
 福井県県民生活課(福井市月見5丁目4-23)へ

◆不法電波をなくそう

近年電波の利用は目覚ましいものがあり、放送・通信・気象・防災などその利用分野は拡大の一途をたど

っています。電波は今や国民の日常生活になくてはならないものになっています。しかしながら、電波法令に違反した不法無線局、特にハイパワー市民ラジオの無線機を使う者が増えていると言われます。

不法無線局は一般家庭のテレビ・ラジオをはじめ、公共の安全確保のための無線局に対して混信妨害を与え、大きな社会問題となっています。無線機を使用するときは、必ず免許を受け、郵政省の検定合格マークのあるものを購入するように注意して下さい。

違法な無線機を使用したり、他人の通信を傍受盗用することは禁じられており、違反者は罰せられます。

◆県政バス教室

県政バス教室が9月19日(金)に行われます。今回は福井臨工や朝倉氏遺跡を訪ねるコースです。

参加ご希望の方は、県広報課県民相談室(福井市松本3丁目16-10)へ住所・氏名・年齢・連絡方法(電話番号)を往復はがきに書いて申し込んで下さい。

定員になり次第締め切ります。

国勢調査あれこれ(最終回)



国勢調査は今回で13回目になりますが、調査方法は各世帯で調査票を記入する自計申告です。

調査票はマークシート形式になっており、これは地方事務の軽減結果の正確度の向上、集計期間の短縮を図るため、昭和40年の調査で初めて採用されたものです。この調査票を光学式読取装置にかけ光の反射率の差によって記入の有無を読み取る仕組みになっています。

したがって機械による読み取り

上の制約から必ず「黒鉛筆」で記入し、インクやボールペンは黒でも絶対に使用しないことになっています。

また、1枚の調査票には4名まで連記することができ、世帯及び各世帯人員に対して22の事項にわたって調査することになります。

前回50年の調査では、大野市で約1万4,000枚の調査票を使用しています。大野市の調査区は270あり、内閣総理大臣から任命を受けた調査員が、10月1日を期していっせいに調査することになっています。

